

事業番号	15 05 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	特別支援学校体制整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課		
		実施期間	S24 ～	E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp		
次期総合5か年計画（答申書）との対応関係							
政策の柱	誰もが主体的に学び続けられる社会をつくる						

1 現状と課題

- ・児童生徒一人ひとりの特性やニーズに応じたICT機器やAT等の活用による、最適な支援ツールや方法を導入できず、早期からの支援が不十分な状況。
- ・特別支援学校は、施設の老朽化や、児童生徒数の増加に伴う狭隘化が進み、安全で快適な学習環境が整っていない。

2 事業目的

一人ひとりの力を最大限に伸ばし、自分らしく学べる、安全な学習環境を整備する。

3 事業目的を達成するための取組

- ①児童生徒に必要な支援ツールを整備
- ・一人ひとりの学習や生活にマッチした支援ツールの導入や試用を推進する。
 - ・個別の指導計画に位置付け、障がいや認知の特性に応じた個別最適な学びを実現する。
- ②特別支援学校の環境を改善するための施設整備
- ・校舎等の修繕や改修を計画的に実施し、安全な学習環境を整備する。
 - ・「長野県特別支援学校整備基本方針」に基づき、建築年数や建物の劣化状況や児童生徒数の将来推計等を踏まえながら、長期的な視点を持ち学校施設の整備を行う。

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	個別の指導計画に個のニーズに応じたICT活用が位置づけられている児童生徒の割合	%	—	—	—	73	—			目標値は現在策定中。第3次長野県特別支援教育推進計画策定に合わせ1月までに設定予定。	
②	計画に位置付けた修繕・改修の各年度における実施率	%	—	5.9	—	8.6	↗	16.2		中長期修繕・改修計画において、令和3年度からの10か年で185箇所を整備することが長期目標であり、令和5年度は16.2%を目標とする。	

5 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)				0		3.7
	(要求)		3,504,588		3,504,588	1,640,893	
R4年度	692,413	865,181	0	1,557,594	1,387,127	3.7	
R3年度	99,674	1,122,407	695,439	1,917,520	1,006,503	1,108,050	3.7

事業番号	15 05 02	細事業一覧（令和5年度実施事業分）	■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	特別支援学校体制整備事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
1	特別支援教育推進指導事業		292,859 千円	188,539 千円	(予算案) (要求) 237,139 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	学校管理運営事業費	直接	タブレット端末等ICT活用教育の推進、ICT環境の整備、遠隔教育の推進、ICT機器の設定や操作研修等を実施するGIGAスクールサポーターを派遣、ICT・ATを活用したトータル支援体制の強化 ICT・ATリソースの充実による支援拠点の整備 2か所		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
2	特別支援学校整備事業		194,868 千円	67,856 千円	(予算案) (要求) 2,483,008 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	特別支援学校施設計画整備事業	直接	中長期修繕・改修計画等に計画されている改修工事等について計画的に実施する。 整備箇所数 12箇所		
2	松本・若槻養護学校施設整備事業	直接 委託	松本養護学校・若槻養護学校の施設整備 基本計画の策定		
3	特別支援学校教室増設事業	直接	児童生徒数の増による校舎の狭隘化に対して教室等の増築工事を行う。 整備教室数 3校26教室		
4	特別支援学校トイレ環境整備事業	直接	老朽化等によるトイレの環境を整備する。 トイレ整備校数 3校		
5	校地拡張事業	直接	児童生徒数の増加に伴い校地全体が狭隘化している環境を改善する。 対応学校数 11校		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
3	特別支援学校運営事業		634,680 千円	608,786 千円	(予算案) (要求) 784,441 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	特別支援教育就学奨励事務費	直接	特別支援学校に通う児童生徒の保護者等に対する就学奨励費の支給 支給対象者数 2,628人		
2	通学バス・公用車整備事業	直接	経年劣化したスクールバスの更新、児童生徒数の増加に伴う通学生の増加に対応するためのスクールバス増便・新規配置 スクールバス更新・増車等 8台		
3	産育休代替教員の事前配置	直接	年度途中における欠員の抑制を図るため、産育休予定の教員が在籍する学校にあらかじめ代替予定の教員・講師を配置する。 教員・講師配置 5人		